# オープンプラットフォーム会議について

# オープンプラットフォーム会議とは

オープン・プラットフォーム会議は、庁舎エリアのイメージを市民とともに描き、同じビジョンを抱く仲間を集め、庁舎エリアでやりたい活動、実現したい夢を叶えていくための公開型ミーティングです。

市民が積極的に活用することで、"まちの未来を育む拠点"としての庁舎エリア実現に向けた、公民共創型の活動(会議)体。

主体的に参画・連携したい**地元のプレイヤー、企業等を巻き込み、庁舎エリアへの関心・機運醸成**し、門真市でのこれからの庁舎エリアのあり方について議論します。

# オープンプラットフォーム会議のプログラム

INPUT/OUTPUT/BrushUPの3部で構成され、各回でテーマを設定します。

INPUT 「ゲスト」による基調講演(実践者の話を聞き、イメージを広げる)

**OUTPUT** 市民によるアイデア発表(やりたいこと、夢を語る)

**BrushUP** ディスカッション(ゲスト、プレゼンター、参加者により庁舎エリアの未来を描く)

**一言カード**での参加者の意見やテーマを元に、ディスカッション。

# オープンプラットフォーム会議 基本計画段階の役割

## 庁舎エリアコンセプト「みんなで描き、みんなでつなぐ このまちがキャンバスに」

#### 第1回(R7.5)の狙い

- ・市民の機運醸成
- ・庁舎エリアへの関心づくり
- ・地元プレイヤーの巻き込み

# 第2回(R7.11)の狙い

- ・庁舎エリア整備と波及効果
- ・シビックプライドの醸成
- ・広場とコミュニティの重要性

## 令和8・9年度(基本・実施設計)

- ・設計与件のあぶり出し
- ・具体的活動の創出(社会実験)
- ・プレイリーダーの顕在化

#### Vol.1

テーマ 「○○○

司会 馬場 正尊

ゲスト 忽那 裕樹 × 宮部 浩幸

プレゼンテーション

・広場WTから出たプレイヤー2~3人

#### Vol.2

テーマ 「○○○」

ゲスト 未定

プレゼンテーション

・広場WTから出たプレイヤー2~4人

#### Vol.3~

テーマ 「○○○」

ゲスト 未定

プレゼンテーション

・広場WTから出たプレイヤー2~4人

## 会議の進め方

#### (前半) 50分

# レクチャー(インプット)

- ・庁舎エリアの可能性を示す。
- ・ビジョンや方向性を共有する。
- ・参加者の当事者意識を醸成する。

#### (休憩) 10分

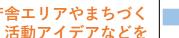
## 地元パネリストのプレゼン

地元パネリストが庁舎エリアやまちづく りへの意見や思い、活動アイデアなどを を発信

#### (後半) 60分

#### ディスカッション(アウトプット)

- ・会場から一言カードで意見を収集し、 それをテーマに議論する
- ・他人の意見を知り、多様な角度で まちの方向性を議論





# 一言カードとディスカッションの進め方

| 門真市駅周 | 辺エリアブ | ゚ラットフ | 'ォーム組 | 成勉強会 |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 一言カード |       |       |       |      |

| ■ お名前 / 所属 ※ステージ上で読み上げられることがあります。読み上げられたくない方はハンドルネームなどご記入ください。 |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
| ■ ディスカッションしてほしいことや、門真市駅周辺再整備に関するご質問や<br>ご意見などをご記入ください。         |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 例  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

- ■特に回答を希望する登壇者はいますか?
- □ 宮本市長
- □ Open A 馬場 正尊

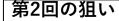
ご記入後は会場スタッフにお渡しください。

- ・休憩時間中に一言カードに、参加者が 質問・意見を書く。 (氏名、所属等は記入しなくてもよい) 個人としての意見を聞き出しやすくする。
- 休憩終了時にスタッフが回収し、後半の ディスカッションのテーマに合いそうな ものをピックアップする。
- ・その意見、質問を元に、司会がモデレート しながら、意見を求める。

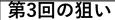
# 過去の事例 エリアプラットフォーム組成勉強会(R4年度)の実施

### 第1回の狙い

- ・関係者の機運醸成
- ・エリアへの関心づくり
- ・エリアリノベーションの理解



- ・稼ぐまちづくり
- ・地域循環経済の重要性
- ・ものづくりとまちづくりの融合



- ・地域資源の生かし方と波及効果
- ・地元主体のエリアマネジメント
- ・シビックプライドの醸成

参加者 87 名

Vol.1 5/27 (金) 10:00~

「エリアリノベーションの将来ビジョン」

・宮本市長・ 馬場 正尊(Open A)

「門真らしさを追求するまちづくりとはなにか?」という問いかけがなされ、交通や、働・住・遊の結節点である門真市駅周辺エリアで、「仕事と暮らし、遊びが地続きに融合した街」をどのようにつくりあげていくことができるのかが、将来ビジョンに向けての課題となった。



参加者 71 名

Vol.2 7/29 (金) 14:00~16:00 71 名

「稼ぐまちづくりが門真を変える」

- ・木下 斉 氏(一般社団法人AIA代表理事) パネラー
- ・木下 斉 氏 ・宮本市長 ・馬場 正尊 地元パネリスト
- ・栗原木工 栗原社長
- ・一瀬製作所 一瀬社長
- ・京阪HD 難波課長



Vol.3 9/27 (火) 10:30~12:00

「地域資源を生かしたエリアマネジメント」

- ・西本 伸顕 氏(ふらのまちづくり会社) パネラー
- ・宮本市長 ・西本 伸顕 氏・馬場 正尊 地元パネリスト
- ・フィットネスインストラクター 古川 啓子氏
- · seesaw 結城 雅奈子氏
- ・布もの工房 北次 北次社長



参加者

60名